

みはま歴史文だより

The Letter from Mihama Town Museum of History and Culture

TOPIC

- ・今回制作のイラスト図は、興道寺窯跡と興道寺遺跡の古代鍛冶の二点！
- ・今年も歴史フォーラムが盛大に開催されました
- ・ワークショップ みはま学芸員養成塾、終了
- ・興道寺廃寺指定答申記念の巡回展、始まる
- ・歴史文化館運営委員会第一回会議、開催
- ・Event Guide(行事のお知らせ)、事業報告、みはま歴史文おもしろ展示品の予定です。

平成29年12月28日発行

● 編集・発行 ●
美浜町歴史文化館

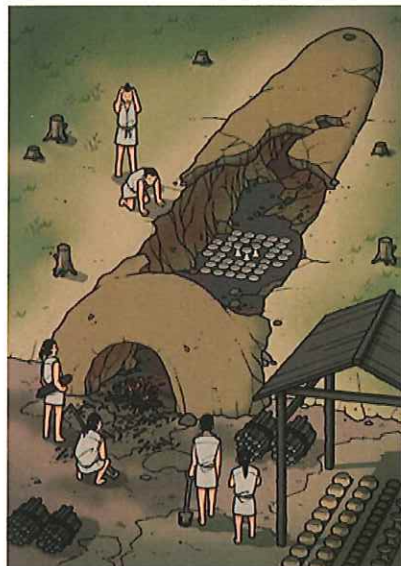
〒919-1138 福井県三方郡美浜町河原市8-8

TEL 0770(32)0027 FAX 0770(32)0615

獅子塚古墳、口背湖遺跡、土器製塩遺跡のイラスト図に続き、

今回制作のイラスト図は、興道寺窯跡と興道寺遺跡の古代鍛冶の二点！

今年度もイラスト図を通じて展示品やその頃の時代を知っていただくとうと、昨年度に引き続き、新たに二点の展示解説イラスト図を制作しました。興道寺窯跡のイラスト図では、窯の天井が崩落し、失意のうちに閉窯する様子を描き、興道寺遺跡の古代鍛冶のイラスト図では、竪穴建物内で小鍛冶を行っている様子を描いています。A2サイズのパネルとして、十月下旬から展示室内で展示を始めました。



興道寺窯跡イラスト図



興道寺遺跡の古代鍛冶イラスト図



イラスト図の展示の様子

今年も歴史フォーラムが盛大に開催されました

今回のテーマは「耳別氏、若狭に起つ」。当館を舞台に講演が行われました。



参加者の様子



講演の様子



座談の様子

毎年恒例となった美浜町歴史フォーラム。今年も福井県生涯学習センター、耳公民館との共催事業として、平成二十九年十一月三日（金・祝）に当館を会場に開催され、若狭の古代豪族や、当地の耳別氏をテーマに若き研究者たちによる講演、座談が行われ、八十三名の古代史ファンが熱心に耳を傾けました。

今回のフォーラムも、歴史学、考古学、古代文学など多岐に渡る専門分野の講師陣による学際的なレレー講演が行われ、座談での議論では耳別氏は中央政権や大陸との交流をもつ豪族であったことがパネリスト達から指摘されました。今回のフォーラムでも会場の参加者からも質問が飛ぶなど、熱気に満ちたフォーラムとなりました。

耳別氏は史料の乏しさもあって実態がよくわからない古代豪族ですが、近江など周辺地域とも関係を持ち、興道寺廃寺を建立するなど強い勢力をもつ氏族であったことが改めて浮き彫りとなりました。

歴史フォーラムの内容は講演録として活字化され、美浜町歴史シンポジウム記録集十二『耳別氏、若狭に起つ』として平成三〇年三月に刊行の予定です。



ワークショップみはま学芸員養成塾、終了

今回は五名の受講生による解説パネルの作成と展示解説

昨年度に引き続き、高島市歴史民俗資料館の白井忠雄学芸員を講師に迎え、当館のワークショップとして行った「みはま学芸員」養成塾二〇一七も全二回の講座を終えました。マキノ資料館と当館の見学を通じて民具（民俗資料）への理解を深め、二回目の講座で担当する展示品について解説パネルを作成し、他の受講生の前で展示品の解説を披露していただきました。受講生の皆さんには、まさに「みはま学芸員」の一人として、今後も続けて学んでいただきたいと思えます。白井学芸員も、「例え受講生が一人になっても、このワークショップは続けた」と意欲を燃やしています。

なお、今回も力作揃いの解説パネルですので、当面、展示室に設置し、活用させていただく予定です。



展示解説の様子



受講生が作成した解説パネル



「みはま学芸員」修了証授与



解説パネル作成の様子

興道寺廃寺指定答申記念の巡回展、始まる

町内の公共施設など十ヶ所を展示パネルが巡回します

平成二十九年十一月、国文化審議会が興道寺廃寺を国史跡に指定するよう文部科学大臣に答申したことを記念し、このことを紹介する当館パネル展が始まりました。町役場を皮切りに町内の各施設を巡りながら興道寺廃寺の概要や価値をご紹介します。

この年末年始は美浜駅で、年明けから平成三〇年二月までは町の公民館やきいばすなどを巡回します。平成三〇年三月二一日（祝）には興道寺廃寺国指定記念講演会も行われる予定です。



第1回巡回展の様子

歴史文化館運営委員会

第一回会議、開催

歴史文化館の運営、活用にご意見をいただきました

平成二十九年十月二十五日（水）、当館運営委員会の一回目の会議が開催され、美浜町教育委員会が委嘱した五名の委員が出席しました。会議では館長と学芸員から開館以後の事業報告を行い、企画展や歴史講座などの取り組みについて詳しい説明を行いました。

委員からは、学校現場との連携や年間パスポートについてのご意見をいただきました。



第1回運営委員会の様子

事業報告	日付	内容
	10/7 (土)	みはま土曜歴史講座 第6回開講
	10/11 (水)	梅の実会様 研修
	11/3 (祝)	平成29年度美浜町歴史フォーラム開催
	11/18 (土)	みはま土曜歴史講座 第7回開講
	11/18 (土)	三方の語り部の会様 見学解説
	11/25 (土)	第1回「みはま学芸員」養成塾2017開講
	12/9 (土)	みはま土曜歴史講座 第8回開講
	12/16 (土)	第2回「みはま学芸員」養成塾2017開講
	12/20 (水)	はあとふる大学様 見学解説 など

みはま歴史文おもしろ展示品(7)

目薬瓶(めぐすりびん)

田口参天(さんてん)堂(現在の参天製薬)が明治32年(1899)に点眼式の目薬を開発し「大學(だいがく)目薬」として発売された。明治から大正にかけて、多くの種類の目薬が販売され、多様な「目薬瓶」がつけられたが、適量の点眼に向かず、衛生面にも問題があった。当館展示品の目薬瓶は7.6cm、清涼感のあるコバルトブルーのガラス製で、表に「高野目薬」、裏に「松永製」のエンボスが見える。実効性とご利益への期待、そして手軽な高野山土産として爆発的な売れ行きがあったようだ。

歴史文化館のご案内

〔開館時間〕9:00～17:00(入館は16:30まで)
 〔休館日〕毎週月曜日・祝日の翌日・年末年始(12月29日～1月3日)・その他
 〔入館料〕大人…100円(20名以上の団体の場合 50円)
 小人(小・中学生)…50円(20名以上の団体の場合 無料)
 ※ 身体障害者手帳、療育手帳又は精神障害者保健福祉手帳を所持する方、就学前の幼児は無料。

編集後記

開館2年目の2017年も、町内外の多くの皆様を支えられながら、着実に前進をすることができたものと、心より厚く感謝申し上げます。すっかり定着した歴史講座・歴史フォーラムなど、毎回楽しみに参加して下さる方々をはじめ、多くの方が励ましやアドバイスの声をかけて下さったりと有難い限りです。本年念願かなった「興道寺廃寺跡の国史跡答申」というビッグニュースは、我々に大いなる希望と勇気を与えてくれました。今後に向けて、心新たに日々精進してまいります。どうぞよろしくお願いたします。(M.K)